

様式第3号(第6条関係)

2021年7月20日

鳩山町太陽光発電施設計画届出書

鳩山町長 宛て

届出者 住所 東京都新宿区市谷船河原町9-
NBCアネックス市谷ビル8F
氏名 株式会社リケアホーム
代表取締役 高野誉之
(法人にあっては主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
(電話番号 03-5946-8751)

鳩山町太陽光発電施設の設置に関する要綱第6条第1項の規定により、関係書類を添えて下記のとおり届け出ます。

記

1 発電施設の名称	鳩山町熊井発電所
2 設置場所	鳩山町 大字熊井字天ヤヲネ87
3 敷地面積	1402 m ²
4 定格発電出力※1	49.5 kW
5 発電事業者	住所 東京都新宿区市谷船河原町9-1NBCアネックス市谷ビル8F 氏名 株式会社リケアホーム 代表取締役 高野誉之 (法人にあっては主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
6 着工予定年月日	2021 年 9 月 1 日
7 稼働開始予定日	2021 年 9 月 27 日
8 事業終了時の対応※2	<input checked="" type="checkbox"/> 検討済 <input type="checkbox"/> 未定 将来計画及び概算費用 (別紙:事業終了時の対応参照)
9 参考資料	別添のとおり※3

※1 「定格発電出力」は、発電施設の定格発電出力を小数点以下第1位(小数点以下第2位切捨て)まで記載してください。発電設備の合計出力とパワーコンディショナーの出力のいずれか小さい方の出力とし、パワーコンディショナーを複数設置する場合は、各系列における発電設備の合計出力とパワーコンディショナーのいずれか小さい方の出力を合計した値を記載してください。

※2 「事業終了時の対応」は、施設を廃止した場合の将来計画を予め検討した結果について、その計画内容及び概算費用並びに経費の調達方法等について記載してください。

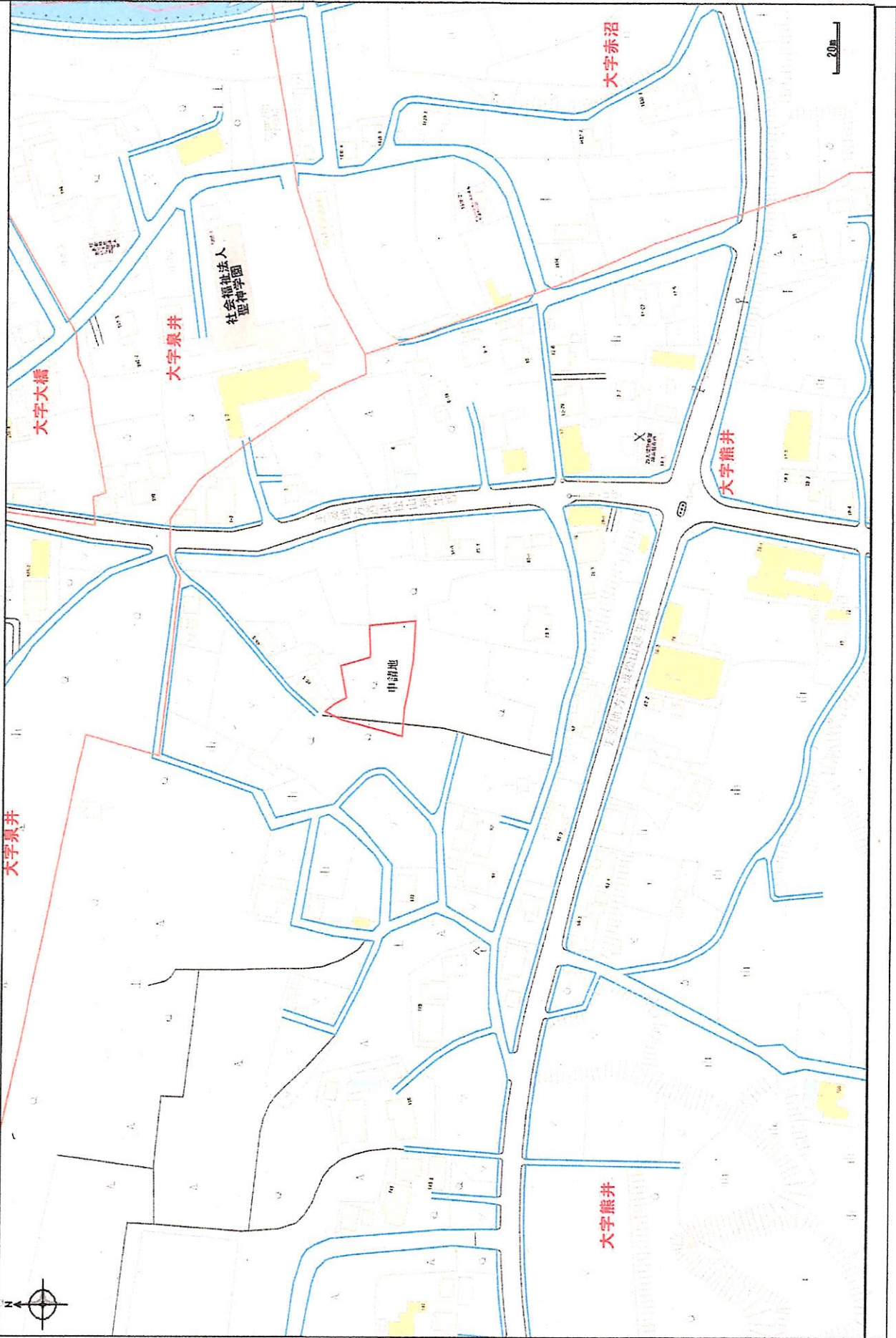
※3 計画区域の位置図、関係機関との協議状況、雨水排水流出抑制計画、その他必要な資料を別添としてください。

事業終了時の対応（別紙）

施設を廃止した場合の費用を 20,000 円/kw を想定しており、
110kw(パネル容量)×20,000 円の 2,200,000 を 20 年間の売電収入で積み立てを行います。

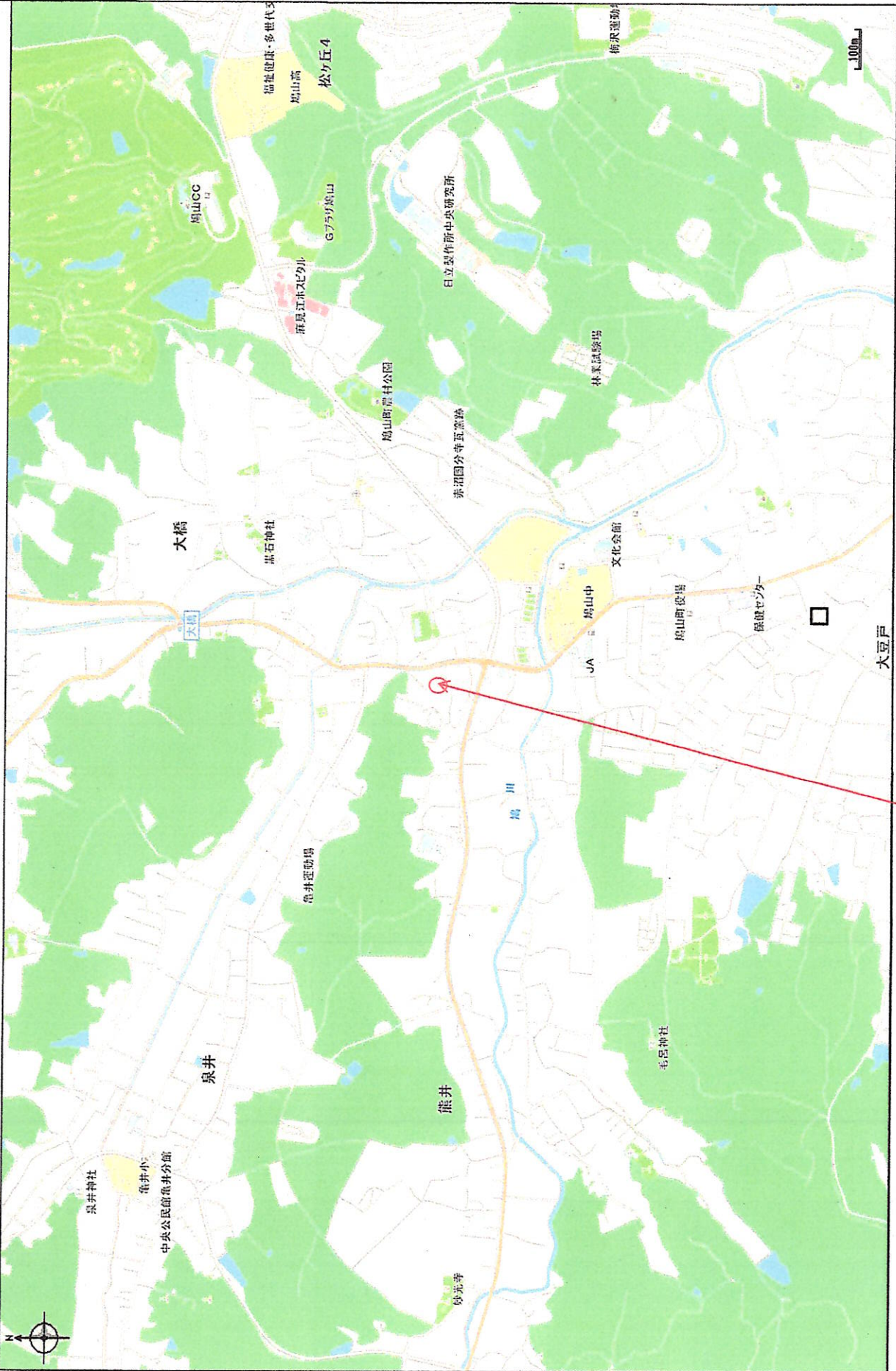
案内図

中心地 | 比企郡鳩山町熊井 付近



位置図

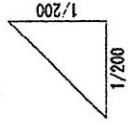
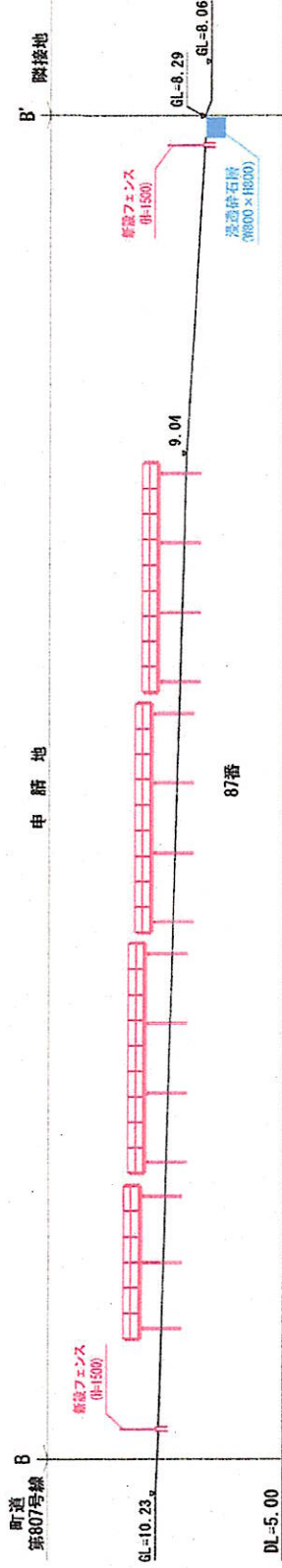
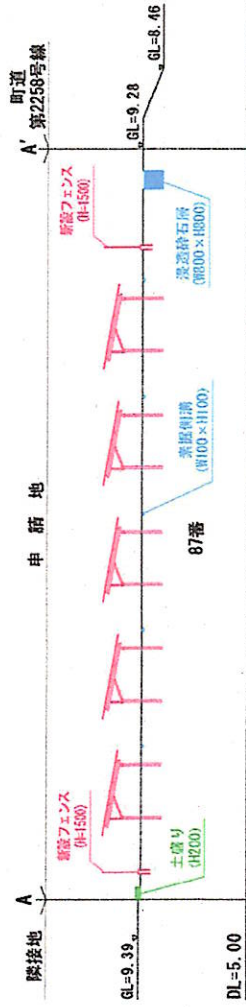
中心地 | 比企郡鳩山町熊井 付近



申請地

関係機関との協議状況

法令名	窓口	状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	鳩山町産業環境課	該当なし
農地法	鳩山町農業委員会事務局	5条許可申請中
農業振興地域の整備に関する法律	鳩山町産業環境課	該当なし
森林法	鳩山町産業環境課	該当なし
河川法	東松山県土整備事務所	該当なし
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	東松山県土整備事務所	該当なし
土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の促進に関する法律	東松山県土整備事務所	該当なし
文化財保護法	鳩山町教育委員会事務局	該当なし
埼玉県文化財保護条例	埼玉県教育局文化資源課	該当なし
鳩山町文化財保護条例	鳩山町教育委員会事務局	該当なし
埼玉県オオタカ等保護指針	埼玉県環境部みどり自然課	該当なし



工事名	比企郡鳩山町大字熊井字天ヤラネ87番	断面名称	断面図
図示 (A3)	作成日 2021年7月2日	確認	
図面番号	承認	監査	
	作成	承認	

I 流出量の計算

1 計画最大雨水量

$$Q=1/1000 \times C \times I \times A$$

Q : 計画最大雨水量(m³/hr)

C : 総括流出係数

I : 平均降雨強度 57 (mm/hr)

A : 集水面積(m²)

総括流出係数は工種別基礎流出係数標準値を使用する。

工種別	流出係数	工種別	流出係数	自己居住用
屋根	0.90	水面	1.00	不要
道路	0.85	間地(空地)<土>	0.20	不要
浸透舗装	0.70	間地(空地)<砂利敷>	0.30	不要
その他の不透水面	0.80	芝・樹木の多い公園	0.15	不要
		勾配のゆるい山地	0.30	不要
		勾配の急な山地	0.50	不要

2 計画最大雨水量Qの算出

工種	C:流出係数	A:集水面積(m ²)	C×A	Q:(m ³ /hr)
屋根	0.90	546.59	491.931	28.040
道路	0.85			
その他の不透水面	0.80			
水面	1.00			
浸透舗装	0.70			
間地(空地)<土>	0.20			
間地(空地)<砂利敷>	0.30	855.39	256.617	14.627
芝・樹木の多い公園	0.15			
勾配のゆるい山地	0.30			
勾配の急な山地	0.50			
計	0.53	1401.98	748.548	42.668

II 浸透施設設計

1 土質と飽和透水係数

		地形区分	県央荒川流域	県央・県北域	現地透水試験
土質	ローム	土質	ローム	ローム	ローム
飽和透水係数 k_0 (m/hr)	0.0325	k_0 (m/hr)	0.108	0.054	0.0325
		k_0 (cm/sec)	0.003	0.0015	0.0009

毛呂山町浸透能力マップ(抜粋)

2 浸透施設の設計処理量

2.1 基準浸透量

雨水浸透施設の浸透量は「埼玉県雨水流出抑制施設の設置等に関する条例」許可申請・届出手引きにより算定する。

$$Q_f = K \times f$$

Q_f : 基準浸透量 (m³/hr)

K : 比浸透量 (m)

f : 土壌の飽和透水係数 (m/hr)

2.2 基準貯留量

貯留量は、空隙率 T_v を用いて算出する。

$$Q_t = V \times T_v$$

Q_t : 基準貯留量 (m³)

V : 体積 (m³)

T_v : 空隙率 (%)

2.3 基準処理量

$$Q_d = Q_f + Q_t$$

Q_d : 基準処理量 (m³/hr)

Q_f : 基準浸透量 (m³/hr)

Q_t : 基準貯留量 (m³)

3 施設の設置

(基準処理量の算出は次ページ以降参照)

名称	寸法	基準処理量 Q_d (m ³ /hr)	数量	単位	処理量 ΣQ_d (m ³ /hr)
浸透柵				個	
浸透柵				個	
浸透トレンチ				m	
浸透トレンチ				m	
浸透側溝	800×800	0.484	90	m	43.560
計	***	***	***	***	43.560

4 判定

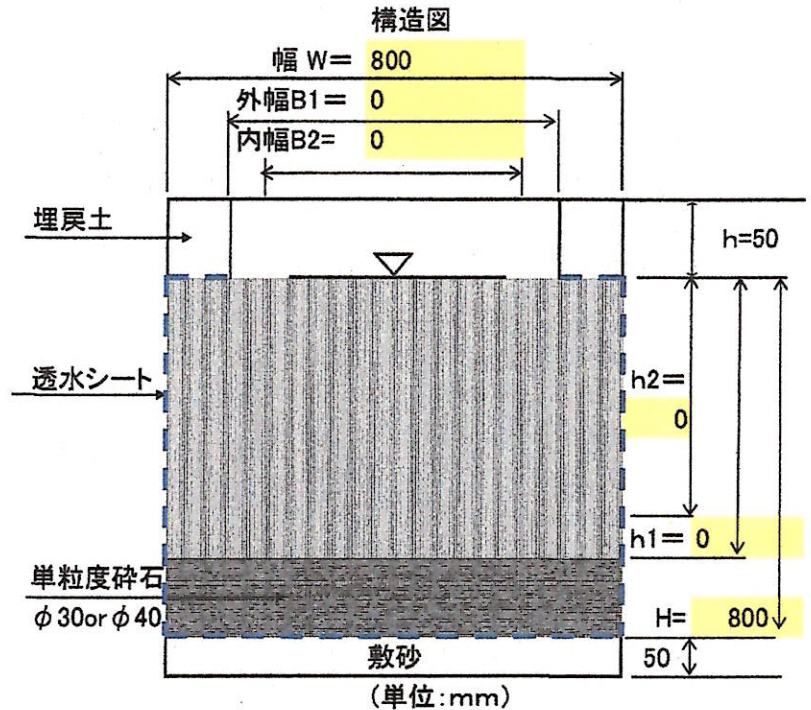
流出量 Q (m ³ /hr)	処理量 ΣQ_d (m ³ /hr)	判定
42.67	43.56	満足する

浸透側溝の処理量計算

1 設計条件

設置形状	浸透側溝
浸透面	側面・底面
設計水頭	約0.3m
施設規模	幅約0.3m
基本式	$K=aH+b$
H(m)	0.8
W(m)	0.8
L(m)	x/1m
a	3.093
b	$1.34 \cdot W + 0.677$ 1.749
K	4.223

長さは1m当りで計算する。



※略図ですので、参考としてください。

2 基準浸透量

$$Q_f = K \times f$$

Q_f: 基準浸透量 (m³/hr)

K: 比浸透量 = 4.223 = 4.22

f: 土壌の飽和透水係数 (m/hr) = 0.054

$$Q_f = 0.228 \text{ (m}^3\text{/hr)}$$

3 基準貯留量

$$Q_t = (W \cdot H - B_1 \cdot h_1) \cdot T_v + B_2 \cdot h_2$$

Q_t: 基準貯留量 (m³)

T_v: 空隙率 (%) = 40 (単粒度碎石 φ30)

W (m)	H (m)	B1 (m)	B2 (m)	h1	h2	W · H	B1 · h1	B2 · h2	Q _t
0.8	0.8	0	0	0	0	0.64000	0.00000	0.00000	0.256

4 基準処理量

$$Q_d = Q_f + Q_t$$

$$= 0.228 + 0.256$$

$$= 0.484 \text{ (m}^3\text{/hr/m)}$$